

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立南新崎小学校

全国学力・学習状況調査		
A・B層の割合		
年度	国語	算数
令和 8 年度の目標	70.0%	70.0%
令和 7 年度の目標	68.0%	68.0%
令和 6 年度の結果	66.0%	64.0%
令和 5 年度の結果	61.0%	58.0%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果		
A・B層の割合		
学年	国語	算数
第 6 学年	38.4%	44.2%
第 5 学年	51.9%	44.3%
第 4 学年	41.5%	57.3%
第 3 学年	44.6%	45.8%

 ともに、生きる。 江戸区	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・校内研究を通して、教員が協働して学び合うことで教員一人一人の指導力向上を図る。 ・毎週一回、若手教員を対象とした指導力向上に向けた研修会を行う。 ・問題、めあて、自分の考え、まとめ、振り返り、学習感想等の板書カードを統一して使う。 ・問題解決型学習の流れを意識したノート指導法（板書計画）を作成し、全校で統一した指導を行う。	・学力調査の結果を基にした、指導を行うことで基礎学力の定着・習熟度を確認する。 ・百マス計算を定期的に朝学習で取り組み、基礎的な計算力の向上を図る。 ・週1回の朝学習では、「よむYOMUワークシート」など、読解力の向上を目指した学習活動を継続的に取り組む。	・スタディウィークの取り組みを通して、日常的な学習習慣の定着を図る。 ・スタディウィークの分析結果を保護者にフィードバックすることで家庭との連携を図る。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・児童の言葉でめあてをたて、めあてに即した自力解決や、「どんなときでもつかえる」という視点に立ち集団検討をするなど問題解決型学習の授業展開を進める。 ・全員が自信をもって答えられる問題を授業中に数問取り組ませ、自己肯定感を高める。	・サポートとして、放課後補習事業者と連携して放課後補習教室実施する。 ・児童の実態に合った教材を用意し、個別に支援を行っていく。	・家庭との連携を図り、児童の実態に合わせた家庭学習にスモールステップで取り組ませていく。
成果指標	全国学力調査 「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」 肯定的な回答 85%以上	東京ベーシックドリルの診断 テスト 7 割達成者 70%以上	全国学力調査 「授業時間以外の勉強時間」 1～3年生：30分以上 4～6年生：1時間以上の回答割合 70%以上